

□ 要請番号 (JL46925A12)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モロッコ	G157 日本語教育		個別	交替 2代目	2年	・2026/1 ・2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育・科学研究・イノベーション省

2) 配属機関名 (日本語)

ムーレイ・イスマイル大学

3) 任地 (メクネス県メクネス市) JICA事務所の所在地 (ラバト県ラバト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (鉄道で約2.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

本大学は1989年に設立され(2学部は1982年にフェズの大学として設立)、全国に12ある国立大学の1つでメクネス市及びエルランディア市にキャンパス(5学部、4機関)を有し、全学生数77,630名、教員及び職員1,673名。日本語講座が開講されるメクネス市内のキャンパスには文学・人間科学部の他に、理学部、法学・経済・社会学部、高等技術学校、国立芸術工芸学校、高等師範学校、国立経営管理学校が設置されている。文学・人間科学部では約9,000名の学生がアラビア語、仏語、英語、西語の語学・文学、地理学、イスラム学、史学、社会学、哲学の学科及び修士・博士課程で学んでいる。日本語の授業は、学生向けの公開講座(単位の対象外)の位置付けとなる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国の高等教育機関における日本語教育は、国際交流基金の専門家が派遣されていたラバトの他、複数の国立大学で公開講座として実施されており、本大学においても、日本(文化)の理解を深めることを目的とした日本語講座の開設を希望し、初代の日本語教育の隊員派遣(2024年2月)を受けて公開講座がスタートした。公開講座ということもあり、継続的な受講が難しい一面(他大学同様、学年度末の受講者は登録時の1/2か1/3に減少する傾向にあり)があるが、意欲的な学生も多く、大学としては引き続き講座の実施を望んでおり、後任の要請に至った。日本語講座を担当するモロッコ人講師はならず、隊員中心の活動となるが、日本語(日本文化)のクラブの発足、運営をサポートし同クラブを巻き込んだ活動も期待される。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先責任者と協議しながら以下の活動を行う。なお、一緒に教えるモロッコ人講師はいないため、隊員が講座の運営・実施を担当する。

- 日本語講座の運営(クラス編成、試験・成績付け等の事務全般を含む)。
- 日本語講座の授業実施(週8~10コマ16~19時間程度、レベルは入門から中級程度、各年の状況により変更あり)。
- 日本文化理解向上のためのイベントの企画・開催。
- 他大学の同職種隊員やモロッコ人日本語関係者と協力し、日本語能力試験(JLPT、12月)や日本語スピーチ大会(2~4月頃)の実施支援。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

日本語専用教室、パソコン(インターネットに接続)、プロジェクター、日本語関連書籍
前任の隊員は教材として『まるごと』『げんき』を使用

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先責任者】 文学・人間科学部長(男性・50代)、副学部長(男性・50代)
【配属先同僚】 文学・人間科学部の事務スタッフ(女性・50代)
【活動対象者】 日本語講座の受講学生(約100名)

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)又はフランス語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：(大卒) 備考：高等教育機関で指導するため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：経験に基づいた指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(5~40°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

- ・現地語(モロッコ方言アラビア語)については、現地訓練期間に語学研修を行う。
- ・[配属機関のホームページ](#)
- ・[配属機関\(文学・人間科学部\)のフェイスブック](#)